

市民の活動 もうひとつのカタチ
子どもと親にとって心地の良い場をつくりたい
 「空っこひろば ここ」 山谷真子さん

子育ての中心になる母親たち。育児中の悩みや不安、モヤモヤを少しでも解消して、子どもも親も楽しくいられたら・・・そんな想いを仲間同士で共有し、支え合う活動が大崎でスタートしています。



今、子育ての中心になる母親たち。育児中の悩みや不安、モヤモヤを少しでも解消して、子どもも親も楽しくいられたら・・・そんな想いを仲間同士で共有し、支え合う活動が大崎でスタートしています。

Q 「空っこひろば ここ」で「仲間」をつくるってしていると聞きました。

A 数年前はまだ育児でモヤモヤしていた時、友人から誘われた「自然遊びの会」で、普段と違う子どもたちのキラキラした姿に心が動かされたのと、私自身が癒されて、「あっ、これを私も周りの方にも伝えていきたい」と思ったのが今の活動に繋がります。

*母親アップデートコミュニティ (HUD)
 合言葉は「母親を、もっとおもしろく。」母親と母親をとりまく環境・社会の“アップデート”を目指して活動している。現在会員は世界中に約200名。



山谷 真子さん

岡山県出身。関東で小学校教諭となるが、結婚・出産を機に退職。長女の小学校入学を機に大崎市に移住。2021年親子向けに自然の遊び場を提供する「空っこひろば ここ」をはじめ。母親アップデートコミュニティ(HUC)東北支部メンバー。「げっけいのはなしのちのはなし」絵本アンバサダー。8歳と5歳のお子さんがいる。



Q 活動のきっかけを教えてください。

A 三年前に誕生した母親アップデートコミュニティに参加しています。活動を通じて私自身の得意な事に気づかせてもらい、二〇二一年の年始めに「小さなことでもワクワクしたらやってみよう！」と自分に許可を出してみることにしました。一度心の基準を決めると本当に楽しんです。夏には「空っこひろば ここ」を始めました。

Q 今後の目標や取り組みたい事をおしえてください。

A 「子育てって楽しい！」と感じる人を増やしたい。のちには社会全体がそう思うよう願います。子育ては家庭それぞれ。私のやっている事が選択肢のひとつになってほしいし、子どもと親にとってこの活動が心地良い場になるように心がけていきます。

特集 たまには「巻き込まれ」てみない？

一人より二人、二人より三人・・・仲間がいることで考えが深まり、活動が広がります。学校や地域の友達・先輩に「巻き込まれ」たり、同じ想いをもつ人たちを「巻き込ん」だり。そんな“渦(うず)”に思い切って飛び込んでみることで、一緒に活動を続けられる仲間が見つかるかもしれません。

旧三本木町に生まれ、現在は自身が代表を務めるデザイン関連会社を営みながら「P太郎」の名で音楽やアート、地域活動を精力的におこなう本宮孝太郎さん。Uターンしてから8年。本格的に市民活動始めるまでの道のりを「仲間」をキーワードに振り返ってもらいました。

「頼まれごとは試されごと」 引き受けるうち、 どんどん仲間が増えました。

Q 本宮さんの地域づくり活動の原点は？

A 大学卒業後はそのまま関東で就職し、休日になるとリュック一つで全国を旅しました。宿泊はゲストハウス。そこで性別、国籍問わずいろいろな方とお話をしたんですけど、みんな地元愛が強く刺激を受けました。そこから地元を盛り上げたいという思いがこみ上げてきました。その出会いが僕の原点です。何も無い、つまらない、そして都会に憧れを持って出て行った僕でしたが、旅での出会いによって逆に「地元で色々できるんじゃないか」と発想の転換になりました。

Q Uターン後、これまでどのような8年でしたか？

A Uターン直後は地域の先輩方に巻き込まれながら活動をしてきました。思い返してみると、Uターンから6〜7年くらいは、名前、顔を覚えてもらうための下積み期間でした。しばらくすると様々な活動で、声を掛けてもらうことが多くなりました。そして昨年(2022年)、次のステップに移った感じです。町全体に育ててもらったと感じているので、地域に貢献、恩返しをしていきたいし、この気持ちは死ぬまで変わらないと思います。

Q ひとりとみんなでの活動の違いは何ですか？

A 地域の先輩に言われた『頼まれごとは試されごと』という言葉が胸にずっと残っています。お願いされたときに、断るのか引き受けるのかということ。基本は受けるようにしていて、受ければ広がります。それをやってきてどんどん仲間が増えてきたと実感しています。



1989

誕生
 ・小学生時代の夢は「考古学者になること」
 ・縄文文化に魅了される(その思いは2022年に再燃)

2006 ターニングポイント 01

大学入学(建築デザイン系)
 ・知らない環境(関東の大学)に身を置くことで仲間づくりの重要性を認識。
 ・大学在学中に音楽及びアート活動本格始動



2011 ターニングポイント 02

大学卒業
 ・バックパッカー本格始動。全国のゲストハウスを巡る。

2015 ターニングポイント 03

Uターン
 ・三本木まちづくり協議会加入
 ・アートラボ@おおさきを設立。地域の仲間と展示会の開催等
 ・音楽活動も継続。2022年現在複数のバンドを掛け持ち活動。



2017

結婚

2018

起業
 ・自身の采配で時間をつくり、地域活動に参加できるスタイルは自分にとっても合っている!!

2022 ターニングポイント 04

・小学校卒業時に埋めたタイムカプセルをきっかけに「縄文文化への想い再燃」
 ・三本木未来会議を設立し初代会長就任



2034

(45歳までに) カフェオープン

2044

(55歳までに) ゲストハウスオープン

本宮 孝太郎 (P太郎)

1989年3月大崎市(旧三本木町)生まれ。2015年首都圏よりUターンし、デザイン関連会社を設立。本業と並行し、「P太郎」の名で地域活動への参加を積極的におこなう。「今後は次世代とも活動していきたいです!」



サポセン info

02

サポセン開放DAY ~自分らしくいい場所~

スタッフや参加者と話したり、ゆっくりしたり、モノづくりしたり、情報を交換し合ったり。思い思い過ごしてみませんか?参加無料です。

- *交流室wi-fi完備!
- *中高生のみなさん、自習室にもどうぞ。
- *親子でのびのびしても
- *本や工作、手芸の材料もあります

2月・3月も開放します!

日 程: 2023年1月12日(木)・15日(日)・26日(木)・29日(日)
 時 間: 10:00~19:00

場 所: 大崎市市民活動サポートセンター2F和会議室
 その他: 出入り自由。コロナ対策のため定期的に換気・手指消毒等をおこないます。

サポセン info

01

Talk Talk(トクトク)大崎 未来の大崎で自分のやりたい夢を話そう

これからの自分や地域についてお話しませんか?思いを共有すると、きっとなにかが動き出します。学生さん大歓迎です!

日 程: 2023年3月5日(日) 13:30~15:30 (開場: 13:00)
 場 所: 地域交流センターあすも
 参加: どなたでも。特に10代~20代の皆さんの想いを聞かせてください。定員: 50名。
 申込締め切り: 2023年2月28日(火)
 お問合せ・申込: 大崎市市民活動サポートセンター 0229-22-2915

詳しくはサポセンのHP・SNS・チラシをご覧ください。
 新型コロナウイルス感染症の状況により延期・中止又は内容の一部変更をおこなう場合がございます。ご了承ください。

今年こそ、『WEBに手が回らない』を解決しませんか?



私たちはホームページ制作とWEB集客の専門家です!地元おおさきに貢献したいという思いを持ち仕事をしています。2月中旬にお問合せ頂いた方限定で無料特典あり。詳細はQRコードから。

SHIPS INT'L 株式会社 | 代表取締役 菊地航平
 info@shipsintl.com | TEL.080-5732-3727
 〒989-6115 宮城県大崎市古川駅東 3-7-54



女の子や女性のみなさん、お話を聞かせてください!

「きらっと相談室」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校や職場、家庭での悩みや不安をひとりではかえ込んでいませんか?女の子や女性のみなさんの、一歩を踏み出すお手伝いをします。お気軽にご相談ください。

電話090-6684-4970 (平日10時~18時)

※対面相談も行っています/要予約
 みやぎの女性つながりサポート型支援事業の委託を受け、おおさき地域創造研究会が実施しています。



広告



ひまのすけくん

三本木のみまわりをモチーフにした非公式ゆるキャラ。明るい性格。おっちょこちょいで食いしん坊の男の子。本宮さんと奥さまのkimiさんのユニット「たいず」で作成し、三本木まちづくり協議会広報誌「さんぼんぎねっと」に漫画を連載しています。

